

まちづくりアドバイザーの活動紹介

「4つの業務をするということだけど、具体的にどんなことをしているの？」

アドバイザーの活動内容を以下にまとめてみました。

●企画立案

①目標設定や事業の道筋の組み立て（プロセスの設計）、②企画実施にあたって協働していくべき関係者の設定（呼びかけ範囲の決定）、③具体的に意見を出し合う際の手法やイベント内容の検討（プログラムの検討）などを通し、事業や取組をサポートします。

●ワークショップの運営

参加者のみなさんが思いや希望を自由に出し合える雰囲気を作り、さまざまな意見を整理し、まとめていく為のワークショップを企画し、進行役を担います。

企画にあたっては、「どのような方に参加していただければよいか」、「意見が活発に交わされるためにはどんな手法にすればよいか」などに配慮しながら、目的に応じたプログラムの作成を行います。

●コーディネート

意見や思いの異なる方、同じ思いを持ちながらも、今までつながりが無かった方々が、立場を越えて取組を進めていくためのコーディネートを行います。

●情報の収集と発信

まちづくりに取り組む際のヒントとなるような情報を集め、提供したり、地域での活動内容を広くお知らせするためのニュースなどの作成をお手伝いします。また、地域の方々の意見を知る為のアンケート調査やヒアリングなどを企画・実施します。

●主体性とやる気サポート

地域の課題解決に向けて、地域で主体的に取り組みたいという意識を強め、今後も継続していこうという気持ちを高めていくためのサポートを行います。

●人材育成・発掘

区役所や地域内で、まちづくりの勉強会を開催するなどして、まちづくりの楽しさや、関わる方法などを伝え、担い手が増えるようサポートします。

→詳しくは次ページ以降の事例を参考に。

【2010 まちづくりアドバイザー活動事例集】

【北 区】 地域住民や団体による活動報告会 「もっと知ろう！中川」	1
【上京区】 若者まちづくり会議の開催	2
地域活動団体ヒアリングとコーディネート実施	2
【左京区】 「高齢者にやさしい店」事業への取り組み	3
「左京区の魅力を高めるまちづくり」事業の取り組み	3
【中京区】 地域で活躍する「まちづくり仕掛け人」を育てる	4
【東山区】 清水五条陶板の散歩道	5
未来の演出家ミーティング	5
【山科区】 基本計画策定委員会でのワークショップ	6
【下京区】 安心安全ネットワーク形成事業・冊子の作成	7
崇仁学区の活動支援	7
「学区概要書」の作成	7
【南 区】 基本計画アンケートキャンペーン	8
地域コミュニティ活性化シンポジウム	8
【右京区】 地域に根付いたかしこい暮らし方を考える	9
【西京区】 西京塾	10
地域健康づくりグループ育成事業	10
【伏見区】 深草・大岩山の里山再生～展望台づくり～	11
久我・久我の杜・羽束師地域のまちづくり	11
【京都市】 「地域コミュニティ活性化に関する懇話会」への情報提供と事例集の作成	12

地域住民や団体による活動報告会「もっと知ろう！中川」

【事業概要】

少子高齢化が進む北区の中川学区では、持続的に安心安全なまちづくり活動に取り組むきっかけとして、地域住民や団体が集まり、日頃の活動や地域の歴史などについて報告しあう活動報告会「もっと知ろう！中川」を実施しました。

寺社仏閣や各種団体、小学校や地域の代表等 14 の団体が取組みについて報告。知っているようで知らなかった地域の歴史や団体の活動について理解を深めました。綾部市で地域活性化に取り組む「里山ねっと・あやべ」高倉氏による講演も実施し、地域住民が主体的にまちづくり活動に取り組む必要性が意識されました。また、子どもからお年寄りまで楽しんで参加してもらおうと自治振興会から提案があり、報告会の合間にお茶の時間を設けました。このことで参加者層が拡がり、焼芋をほおばりながら会話を楽しむ光景も見受けられました。

事業を通じて、地域内での連携が生まれたことや、北区社協・原谷包括支援センター・介護予防推進センターとの関係が生まれるなど、地域福祉の取組みに繋げていくきっかけになりました。



【役割/係わり方】

地域住民間の連携促進と、関係機関とのネットワーク作りに向けたイベントの企画運営をサポート

- ◎ 地域住民へのヒアリングや事業プロセスづくりなど、住民間での連携や関係機関との繋がりを生むイベントの企画運営を支援しました。
- ◎ 住民と共にニュースレターを作成し取組内容の共有に努めたりして他の事業との連携を図るなど、事業終了後も、住民同士や関係機関との関係が続くような仕組みづくりを支援しました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：西原 秀倫

若者まちづくり会議の開催

【事業概要】

次期基本計画の策定にあたり、委員からの「若い世代の意見も必要」との提案を受け、「若者まちづくり会議」を企画・運営しました。20～30代の若手が上京区の今後の町のあり方について、「魅力発信」「自治安全」「福祉健康」「環境」という基本計画の柱に沿ったテーマで自由に議論し、計画への提言を行いました。

【役割／係わり方】

- ◎ 会場選びや雰囲気作りに工夫しました。具体的には、上京区内の京町家で、車座形式でざくばらんに議論できる雰囲気を創り、議論の質を高めました。
- ◎ 自発性の高い参加者選びに工夫しました。地域課題の解決に関心のある若者（地域活性化をテーマとする大学のゼミ、地域福祉を研究する大学教員、環境をテーマにした起業家やNPO職員、福祉団体職員など、区役所が接点の少ない専門家）を探し出し、各回10名程度ご参加いただきました。
- ◎ 事業主体の担い手発掘・実現性に工夫した。計画への提言に終わらせず、会議自体の定期・継続的实施、会議で出された事業案のプロジェクト化など、事業主体となる若手の人材を発掘しながら事業化を引き続き進めています。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：浅田 雅人

地域活動団体ヒアリングとコーディネート実施

【事業概要】

基本計画への提言と今後の事業主体の発掘・地域団体の課題発見・団体同士のコーディネートなどを目的として実施。NPO団体・大学の窓口機関・福祉団体・小学校・お祭りの実行委員会・神社・市民活動の中間支援組織など、上京区役所の接点が少なかった約30の地域団体の活動現場を訪問しました（2009年11月～2010年3月時点）。

【役割／係わり方】

- ◎ 区の職員よりも現場に出やすい立場を利用し、現場に出向き情報を集める形式をとり、ヒアリング相手が話しやすい環境や何度も打ち合わせしやすい環境を整えました。
- ◎ 上記で接点をもった団体の活動支援のため、区役所との協働事業を提案しました。
 - 同志社大学学生支援課と上京区役所担当官との定期的な情報交換の会合の設置。
 - 町家のライトアップ企画「都ライト実行委員会」の実行委員募集の支援。
 - 「上京区内の公園芝生化プロジェクト」の活動支援。
- ◎ 団体同士のコーディネート、地域の有力者への顔つなぎなど、各種支援を実施。
 - まち歩き団体「まいまい京都」、鴨川を通じた地域交流「鴨川プロジェクト」への活動支援。
 - 北青少年活動センターと立命館大学ボランティアセンターとのコーディネート。
 - 同志社大学リエゾンオフィスと西陣織工業組合とのコーディネート。他、多数

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：浅田 雅人

「高齢者にやさしい店」事業への取り組み

【事業概要】

平成21年度、左京区役所福祉事務所では左京区地域ケア連絡協議会（左京区社協・包括支援センター・医師会などからなる）と連携し、区内の商店等を対象に、認知症の症状やその対応などについて理解を深めていただき、「高齢者にやさしい店」として店づくりに取り組んでいただくことで、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進を目指しました。



登録店舗数は目標50店舗に対し、55店舗が登録済。サポーター養成講座の内容も、お店に認知症の方が来られた場合を想定したロールプレイなどからなり、参加者からもご好評を頂き、来年度も取り組みは継続して行われます。

【役割/係わり方】

企画立案のサポート、運営補助

- ◎ 事業の目的や対象店舗のターゲット設定、宣言文の作成や事業規約策定に向けての、各会議のファシリテーションやその補助を行いました。
- ◎ お店にとってより取組易く、かつ高齢者の方に安心して通っていただけるお店づくりに役立つためのアイデア出しなどを行いました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：山中 はるな

「左京区の魅力を高めるまちづくり」事業の取り組み

【事業概要】

平成21年度、左京区役所では、「左京区の魅力を高めるまちづくり」事業として、区役所職員の若手～中堅メンバーを中心にプロジェクトチームを作成。メンバーで活発な意見交換を行い、現在作成中の「左京区基本計画（今後10年間の区の事業方針を定めた計画）」に職員の見解を加え、より実効性の高いものにするためのワークショップを行いました。年間を通しての6回のワークショップで、「見やすい冊子にするには」、「区役所が市民活動をサポートするにはどんな支援プログラムが必要か」、「計画により親しんでもらえるためのプロデュースはどうすればよいのか」などについて、活発な議論を行い、その結果を区長に提出しました。

【役割/係わり方】

企画立案、ワークショップのファシリテーション・研修

- ◎ 目的に応じたプログラムの作成。基本計画策定本会議とのリンク方法やすみ分けを考慮し、組み立てを行いました。
- ◎ ワークショップのファシリテーションや、その方法についてレクチャーを行いました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：山中 はるな

地域で活躍する「まちづくり仕掛け人」を育てる

【事業概要】

平成21年、中京区では、次世代を担うリーダーの育成を目的として、「まちづくり仕掛け人養成講座」を開催しました。受講者は4名。全3回の講座を通じて、思いやアイデアを具体化するための企画提案力やその企画を人に伝えるためのプレゼンテーションスキルの向上を目指しました。

第3回の発表会では、京都国際マンガミュージアムを活かした「マンガと食文化のコラボ『まんがレストラン』」など、ユニークな企画案が受講者から発表されました。

この講座を通じて、受講生の思いやアイデアを企画にして表現するとともに、プレゼンテーションを通じて他者への協力を求めるというところまで至ることができました。さらに、受講者間での交流が深まり、相互に協力し合える関係ができたことは、今後の中京区の地域活性化につながる成果の1つと考えられます。



【役割/係わり方】

講座の運営支援、受講者が楽しんで受講できる雰囲気づくり

- ◎ 受講生とともにグループワークに参加し、議論の促進やアイデアに関連する取組や事例の紹介などの情報提供を行い、受講者の思いやアイデアを企画のかたちにすることを支援しました。
- ◎ 受講者に継続して参加してもらえるよう、楽しんで受講できる雰囲気づくりに努めました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：深川 光曜

清水五条陶板の散歩道

【事業概要】

五条通（川端～東大路通間）の電線地中化工事に併せて設置された地上機器 16 箇所の上に、地元住民・大学・鉄道事業者・行政などが連携しながら、清水焼の陶芸家等が制作する陶板作品と観光案内標識を設置。産地の特色を活かして、“歩いて楽しむ”観光スポットの創出や伝統産業の活性化などを目指しました。また、「散歩道」を紹介するパンフレットとHPも制作し、関係者で役割を分担しながら、散歩道の存在や魅力を京都市内外に広くPRしました。



【役割／係わり方】

地域・大学・企業・行政の協働をサポートするコーディネート役

- ◎ アドバイザーという中立的な立場を活かして、地域・大学・企業・行政の間の橋渡し役を果たし、関係者間の連携強化と事業の円滑な推進に貢献しました。
- ◎ きめの細かい情報提供や地道なアプローチで、地域住民の主体性をできるだけ引き出し、また成功体験を通じて、次の新たな取り組みへの意欲を持ってもらいました。
- ◎ 役割を割り振るコーディネート役として、協力してくれる学生に責任とやりがいのある仕事を任せて、地域活動の魅力を体感してもらいました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：大塚 敏之

未来の演出家ミーティング

【事業概要】



東山区では、平成 23 年度から 10 年間の東山区のまちづくりの指針となる「東山区基本計画」の策定に向けて、区民の積極的な参加と、その意見がより反映された内容になることを目指していますが、その取り組みの一環として、東山区の次代を担う若い世代の人たちが、未来の東山に対してどのような思いを持っているのかを話し合ってもらう目的で「未来の演出家ミーティング」を開催しました。

【役割／係わり方】

行政による取り組みのサポートするプロデュース役

- ◎ ワールドカフェ方式のワークショップで、コラージュ（切り絵）の手法を用いるなど、“楽しい時間”を共有するプログラムを企画して、若者の率直な意見を引き出し、若者同士のつながりを作る、という2つの目的を実現しました。
- ◎ ワールドカフェに適した会場設営、会議を円滑に進めるツール・資料づくり、会議当日の司会進行などを担当して、若者が楽しみながら東山の未来について語り合える場を演出しました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：大塚 敏之

基本計画策定委員会でのワークショップ

【事業概要】

山科区では、平成 23 年度から 10 年間を計画期間とする新たな「山科区基本計画」の策定に向けて、多種多様な分野を代表する 29 人の委員による基本計画策定委員会を開催しています。平成 21 年度は基本計画の素案づくりを目標に、合計 4 回の策定委員会が開催され



ました。その中で、第 3 回では市民、行政、そして両者の協働の具体的な取組み内容を検討するため、「環境」「まちの魅力・観光」「交通・都市基盤」「福祉・子育て支援」「地域のつながり」の 5 テーブルに分かれ、ワークショップを実施しました。その際、策定委員に加え、行政側の理事者 13 名、区役所職員 12 名がテーブルに同席し、協働の取組み内容について検討しました。

【役割／係わり方】

行政の取組みのサポート、プログラムの企画、実施

- ◎ 策定委員と行政側理事者・区役所職員とが話し合うためのワークショッププログラムを作成しました。
- ◎ テーブル進行をアドバイザーが担当しました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：佐藤 友一

安心安全ネットワーク形成事業・冊子の作成

【事業概要】

平成16年度からスタートした、地域と区役所、警察などの関係機関が連携して、地域の安心安全の確保に向けて取組む「地域の安心安全ネットワーク事業」に対して、下京区では平成21年度には23学区すべてが活動を開始しました。これを契機に、今までの活動を振り返り、更なる取組の充実や、参加者の拡大など、地域の安心安全の向上に役立ててもらうために、23学区すべての活動を取材した冊子を作成し、全学区に配布しました。

【役割／係わり方】

情報の収集・資料作成

- ◎ 区役所に保管されていた各学区の活動報告を整理して、冊子を作成。
- ◎ 新たな地域の活動を取材。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：天岡 昌代

崇仁学区の活動支援

【事業概要】

地元NPOと連携して、崇仁学区の地域の事業が円滑に運営できるようアドバイスをを行い、居住者による自主的運営にむけて地域内の人材確保・育成・組織化を促進しています。「将来どんな学区にしたいのか」という地域の方の思いを最大限に重視した活動であり、現在は、第1回「KYOTO☆R24～八条坊門楽市・洛座I～」のサポートを行っています。

【役割／係わり方】

実行委員会の運営サポート、イベントの企画・立案・運営補助サポートに関してこころがけていること。

- ◎ 部分的に出される地域の方の思いをひとつにつなげることからはじめました。
- ◎ 地域の方の「地域愛」を活動に反映させるよう心掛けました。
- ◎ 学区の自主性を損なわないよう、主体性とやる気をサポートしました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：天岡 昌代

「学区概要書」の作成

【事業概要】

地域の活性化を論じる前に、まずその地域を知ることからはじめるために、地域活動の取材、地域の特徴の調査などを行いました。基本計画の策定と課題の解決、区役所業務を円滑に運ぶための資料にも活用します。

【役割／係わり方】

- ◎ 学区の状況・文化・歴史の調査、資料の作成

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：天岡 昌代

基本計画アンケートキャンペーン

【事業概要】

次期区基本計画策定にあたり、平成20年9月～11月、より多くの区民の方々に次期計画について知っていただき、幅広い年齢層の意見を計画に反映する目的で、イベント会場・駅前など区内8か所でアンケートを実施し（中学生～一般）、約900名から回答を得られました。その結果1番目に、「東寺の景観」「世界遺産東寺」など、東寺が多くの区民の方々の誇りや心の拠り所となっていることが改めて浮き彫りとなりました。2番目には、「区民の力」「地域の繋がり」など、地域力に関する意見が多く寄せられ、南区では、地域力の強さが大きな特徴となっていることが再認識されました。次期基本計画には、こうしたアンケート結果を盛り込んで策定準備を着々と進めています。また区のHPでも意見を募集してきています。



【役割/係わり方】

アンケート運営・内容の企画・提案・助言・実施・分析

- ◎ 効果的実施案を企画・提案し、関連部門（まちづくり推進課・総務課）と協働で推進案を作成、回答を得たものを分析して素案づくりの基本データの一環として活用しました。この過程の全般に関わり、随時提言・助言を行ってきました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：金井 深水

地域コミュニティ活性化シンポジウム

【事業概要】

区民参加拡大による地域コミュニティ活性化、また「共汗」によるまちづくりを進める契機として2月23日に、アバンティホールで約100名の参加者を集めて開催。講師に愛知江南短期大中田寛学長をお招きし、「地域コミュニティで進めるまちづくり」の基調講演を行い、その後講師・行政・参加者との意見交換会を実施しました。南区次期基本計画策定のベースとなる「地域力」について改めて考え、会場が一体となって議論する有意義な催しとなりました。またそこで出された貴重な意見は、素案づくりに反映できました。



【役割/係わり方】

シンポジウム運営全般に関わる企画提案・助言

- ◎ 新企画事業の為、当初からテーマ選定・講師候補・運営方法・アンケート内容を提案・助言を行ない、当日は運営にも参加しました。次回開催予定の同事業に向けて貴重なノウハウが蓄積できました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：金井 深水

地域に根付いたかしこい暮らし方を考える

【事業概要】

右京区では、平成19年度以降、モビリティ・マネジメントの視点から公共交通機関の利用促進も含めた「かしこいクルマの使い方」を考える取組が実施され、ワークショップ形式を用いた地域住民が参加する取組として進められました（平成19年度：南太秦学区、平成20年度：南太秦学区・太秦学区）。

平成21年度は宇多野学区を対象に、公共交通機関の利用促進も含めたモビリティ・マネジメントを中心にすえながら、地球温暖化対策などの環境問題に対する意識向上、地域の活性化といった視点も含めた「地域に根付いたかしこい暮らし方」を考える取組として実施されました。合計4回のワークショップ形式の意見交換会が開催されましたが、それ以外に興味・関心の高い有志による学習会も同時並行で開催されました。

またこの取組は、従来から右京区役所を中心に、交通局や都市計画局歩くまち推進室、民間交通事業者が連携して進められてきましたが、平成21年度はさらに環境政策局地球温暖化対策室や京エコロジーセンターとも連携することで、より幅広い取組になりました。平成22年3月には、右京区まちづくりフォーラムで宇多野学区自治連合会長より取組報告がなされるとともに、上記関連部局の担当者がパネリストとなった意見交換が行われました。地域での継続的な取組とともに、地域での取組を支える行政・交通事業者などの協力関係もより強まってきています。

【役割/係わり方】

事業全体の企画立案、ワークショップのプログラム作成とその運営

- ◎ 右京区役所を中心に、交通局や都市計画局歩くまち推進室、民間交通事業者、環境政策局地球温暖化対策室や京エコロジーセンターが円滑に連携できるような事業の進め方、事業プロセスづくりを支援しました。（企画運営資料の作成など）
- ◎ 地域住民によるワークショップ形式の意見交換会を活発な意見交換の場とするためのプログラム作成を行い、当日の司会進行などを行いました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：朝倉 真一

西京塾

【事業概要】

平成 16 年度からスタートした、「西京区基本計画」の重点プロジェクト事業です。区民公募による塾生の方々が多彩なテーマについて学ぶとともに、その成果を多くの区民へ発信し、まちづくりに興味を持ってもらい、その活動が更に活性化することを目指すものです。平成 16～18 年度は、区民公募による塾生が、「豊かな水と緑、悠久の歴史」、「高齢者福祉」、「環境」について学び、その成果を活動報告冊子にまとめるなど、広く発信してきました。平成 19 年度からは、塾生（区民）自らが企画した活動の実践により、自発的にまちづくり活動に携わる人材の育成を目指すとともに、様々な活動への区民の関心の高まりと参加を促しています。

【役割／係わり方】

区民の主体的な活動の支援

- ◎ 区民の企画立案のミーティングにおける課題抽出や目的の明確化の支援
- ◎ 広報の方法やプログラムの進め方など企画の具体化に対する助言や情報提供
- ◎ プログラム実施時の運営補助

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：田尾 純子

地域健康づくりグループ育成事業

【事業概要】

健康教育等の健康増進事業の参加者の自主グループ化を図るとともに、地域において健康づくりに関する知識や技術の普及啓発を実践できるボランティアを養成し、市民相互で支えあって健康づくりに取り組める環境づくりを目的としている事業です。

西京保健所洛西支所では、平成 20 年度から、「地域」の健康増進や生活習慣病予防について、保健所と一緒に考えたり、健康づくりに役立つ知識を学んで地域に広めたりするボランティア「健康づくりサポーター」を養成しており、平成 21 年度は、新たな健康づくりサポーターの育成を目的に、健康づくりサポーターの養成講座を実施しました。また、健康づくりサポーターのグループ形成（組織化）を行いました。



【役割／係わり方】

事業に関わる職員への助言、自主グループに対する支援

- ◎ 養成講座の企画運営に関する助言
- ◎ 事業に関わる職員に対して「ワークショップ」についての研修の実施
- ◎ 組織化にあたって、職員間で、目指すべきグループ像の明確化と共有の促進
- ◎ グループの形成段階に応じた活動支援

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：田尾 純子

深草・大岩山の里山再生～展望台づくり～

【事業概要】

平成 20 年、一年かけて大岩山に捨てられた 100 トン以上のごみを拾い上げました。その清掃活動で出会った人々を中心に「深草自然環境再生ネットワーク推進委員会」を平成 21 年 7 月に立ち上げ、大岩山にごみが二度と捨てられず、気軽に散策できる場所となることを目指して、展望台づくりを行いました。実現に向けて、ワークショップや自然観察会を行って展望台の構想を練りました。展望台の設置には、推進委員が基礎工事を行い、伏見工業高校の生徒が展望台を組み立てました。木々の伐採など力仕事では、NPO 法人「竹と緑」と京都教育大学陸上部員等の協力を得られました。そのほか、清掃活動や朝市など人が集まる機会を設けて周知活動を行いました。平成 22 年 3 月 28 日に大岩山展望台が完成し、植樹などの完成記念式典が行われました。



【役割/係わり方】住民参加のイベント企画立案，ネットワークづくり

- ◎ 委員会への学生参加を提案し、他地域の清掃活動ボランティア団体へ大岩山清掃活動への参加を呼びかけるなど、多世代・多団体のネットワーク作りを支援しました。
- ◎ 参加者が「イベントに参加して良かった」と、大岩山の魅力を感じ、関心を持ってもらえるような企画を提案し、参加者と積極的に触れ合う運営を心がけ、継続的な参加者層を増やしました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：亀村 佳都

久我・久我の杜・羽束師地域のまちづくり

【事業概要】



「久我・久我の杜・羽束師地域まちづくり協議会」が発足して 3 年。地域の自治会代表と行政職員が地域要望について話し合う場から、協議会委員と行政が協働して、まちあるきや地元住民との交流を持つ活動を行う場へと変化しつつあります。平成 21 年度は定期的な朝市と写真展を開いて、地域住民が地域の財産である野菜を味わい、歴史を知るきっかけを作りました。さまざまなまちづくり活動報告会に出席し、地域外へも情報を発信しました。京都大学の協力を得て住民アンケートや農家ヒアリング、統計調査などが行われて、今後のまちづくりビジョン検討会への礎となりました。

【役割/係わり方】地域住民の主体性とやる気をサポート

- ◎ 協議会メンバーの発案を活かしつつ、主体的に自らできるようにサポートをした。写真展の準備ではスキャナーの学習会を行うことによって、より多くの委員が必要な技術を身につけながら、全員で展示の準備に関わることができました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：亀村 佳都

【京都市】

「地域コミュニティ活性化に関する懇話会」への情報提供と事例集の作成

【事業概要】

近年の社会経済構造の変化や都市人口の流動化等に伴い、地域住民の生活様式や価値観の多様化が進む中で、住民相互のつながりが希薄化し、自治会組織の加入率も低下傾向にあるといわれています。京都市でもこのように「地域力」の低下が危惧されているという課題に対し、「地域力」の維持、さらなる向上を図り、自治会組織をはじめとする多様な地域コミュニティの活性化を推進するために必要な方策を検討する「地域コミュニティ活性化に関する懇話会」を平成21年度から開催しています。懇話会では3つの部会を開催し、それぞれのテーマでの話し合いを深めながら、平成21年度末には提言をまとめ、懇話会から市長に提言を行いました。



【役割／係わり方】

情報提供、事例集の作成・編集、シンポジウム時のワークショップの進行

- ◎ 懇話会および各部会に出席し、アドバイザーとして知っている様々な地域コミュニティの状況や地域コミュニティと区役所の関わり等について情報提供しました。
- ◎ 提言には、地域コミュニティ活性化のために、市民がすぐに使えるヒントとなるような事例集を添付するため、アドバイザーが中心となり作成・編集しました。
- ◎ 提言を紹介するシンポジウムにおいて、「自治活動の活性化」「マンションとのお付き合い」「地域組織と市のパートナーシップ」というテーマに分かれ、ワークショップの進行を務めました。

この活動は、まちづくりアドバイザー全員で担当しました。